

フシグロセンノウ

Lychnis miqueliana Rohrb.

ナデシコ科
Caryophyllaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では主として西部・中部の火山地域に偏在する。生育地や個体数はかなり多い。植生遷移の進行による環境変化や人による採取が懸念される。

県内分布 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地

分布域 本州(関東・中部・西部地方) 四国 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)

生育環境 丘陵地や低山地の林縁。

現 状 植生遷移の進行で生育環境が変化し，生育状態が悪くなった所がある。

タチハコベ

Moehringia trinervia Clairv.

ナデシコ科
Caryophyllaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 II

選定理由

県内分布 (姫島・国東海岸)

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)
ヨーロッパ シベリア 台湾

生育環境

現 状 「姫島・国東海岸」の記録はあるが，その生育地は把握されていない。

ワダソウ

Pseudostellaria heterophylla
(Miq.) Pax

ナデシコ科
Caryophyllaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は点在し，個体数も少ない。植林の森林化や土地改変により，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，祖母・傾山地，北川上流域

分布域 本州 九州(熊本・大分・宮崎)
朝鮮半島 中国・中国(東北部) ウスリー

生育環境 丘陵地や低山地の北寄りのやや湿った草原や林縁。

現 状 主として丘陵地の火山性草原を生育地としているため，植林や人工牧野などへの改変で，消滅した生育地がある。

備 考 大陸系遺存植物。九州は，分布の南限域。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]